



外国出張報告書

平成 26 年 11 月 17 日

1. 出張国名 ウズベキスタン
2. 出張月 平成 26 年 9 月～10 月
3. 出張目的 国際会議（ICAL2）参加、関係機関協議、灌漑排水技術調査の実施

4. 成果の概要

第 2 回国際沙漠会議（ICAL2）に参加し、現在までの調査活動で得られた現地の排水技術、開水路、暗渠排水および垂直排水の現状と課題を発表した。会議では、本調査成果のための基礎情報となる研究・技術情報を入手した。

関係機関協議として、在ウズベキスタン日本大使館、JICA ウズベキスタン事務所を訪問し、これまでの調査の経緯と現状を説明し、情報共有を図った。また、排水技術試験で使用する機材（カットドレーン）について、フェルメル評議会とともに税関手続きを進めた。機材は手続き終了後、試験圃場のあるシルダリア州に搬入した。

灌漑技術調査として、現地関係機関の協力の下、交互畝間灌漑手法による灌漑試験区の収量・土壌データを収集した。

排水技術調査として、カットドレーンの施工テストを実施し、課題を明らかにした。

また、垂直排水調査では観測井および流量測定施設を設置し、観測を開始した。